

## 企画展「ポケモン研究所～キミにもできる！新たな発見～」 展示内容のお知らせ

にっぽんかがくみらいかん

日本科学未来館(略称: 未来館、館長:毛利衛)で平成 27 年 7 月 8 日(水)～10 月 12 日(月・祝)に開催する、企画展「ポケモン研究所～キミにもできる！新たな発見～」の展示内容をお知らせします。

ポケットモンスター(ポケモン)は、平成 8 年にゲームソフトが発売されて以来、国境や文化、世代を越えて世界に広がり、支持され続けています。本展は、そんな親しみのある「ポケモン」の世界観を題材とした科学アトラクション展です。

会場は、第 1 研究室から第 3 研究室までの 3 つのセクションで構成されます。第 1 研究室は、手渡されたモンスターボールの中のポケモンを、観察マシンで分析し、つきとめるアトラクションゾーン。第 2 研究室は、これまでに発見されているポケモンをさまざまな角度から分類・展示し、ポケモンの多様性を深く知ることができるコレクションルームです。そして、第 3 研究室では、第 1・2 研究室で体験する「観察」「分類」が科学研究においても大切なプロセスであることを、実際の発見事例とともに明らかにします。

ポケモンとともに遊び、考えることを通して、科学研究のプロセスに触れることのできる本展。楽しみながら物事を科学的にとらえる力を身につける絶好の機会となるでしょう。



©2015 Pokémon.

©1995-2015 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.

ポケットモンスター・ポケモン・Pokémon は任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

### ■ 概 要 ■

- タイトル** 企画展「ポケモン研究所～キミにもできる！新たな発見～」
- 会 期** 平成 27 年 7 月 8 日(水)～10 月 12 日(月・祝)
- 開 催 時 間** 午前 10 時～午後 5 時(入館券の購入は閉館 30 分前まで)
- 場 所** 日本科学未来館 1 階 企画展示ゾーン
- 休 館 日** 火曜日(ただし、祝日と 7 月 21 日～8 月 25 日の期間は開館)
- 入 場 料** 大人(19 歳以上)1,600 円、中人(小学生～18 歳以下)1,200 円、中人土曜 1,100 円、  
小人(3 歳～小学生未満)500 円
- 主 催** 日本科学未来館、読売新聞社
- 企 画 協 力** 株式会社ポケモン、株式会社ポケモンコミュニケーションズ
- 後 援** 文部科学省、りんかい線
- 公式サイト URL** <http://pokemonlab.jp/>

一般からのお問い合わせ先	企画展「ポケモン研究所」に関するお問い合わせ先
日本科学未来館 〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 TEL:03-3570-9151 FAX:03-3570-9150 URL: <a href="http://www.miraikan.jst.go.jp/">http://www.miraikan.jst.go.jp/</a>	ポケモン研究所PR事務局 (株式会社イニシャル内) 担当:竹内・西野・前岡 TEL: 03-5572-6064 FAX:03-5572-6065 Mail: <a href="mailto:pokemon@vectorinc.co.jp">pokemon@vectorinc.co.jp</a>
	日本科学未来館に関するお問い合わせ先
	日本科学未来館 事業部 展示企画開発課 広報普及担当 TEL:03-3570-9192 FAX:03-3570-9150 Mail: <a href="mailto:press@miraikan.jst.go.jp">press@miraikan.jst.go.jp</a>

## [展示構成]

### ■第1 研究室～博士からのミッション～

「ポケモン研究所」の一日研究員として来場したあなた。手渡されたモンスターボールの中に入っているポケモンを、研究室にある観察マシンを使ってつきとめましょう。観察マシンから得られるポケモンの断片的なヒントは「重さ」、「鳴き声」、「足跡」、「生息地」などさまざま。ミッションの難易度は3段階に分かれているため、お子さまだけでなく、子どもごころにポケモンと出会った20代の方々をはじめ、幅広い世代にお楽しみいただけます。

### ■第2 研究室～ポケモンコレクションルーム～

これまでに発見されたポケモンは700種以上。コレクションルームでは、その全てのポケモンをさまざまな角度から分類・展示し、ポケモンの世界がもつ奥深い多様性を紹介します。分類されたポケモンをヒントに、ワークショップコーナーで自由な視点でポケモンの特徴をとらえ、自分だけのポケモンのグループをつくってみましょう。

### ■第3 研究室～キミにもできる新たな発見～

第1・2研究室で体験した「観察」と「分類」の手法は、科学の研究現場でも実際に使われ、重要な発見につながっています。展示場での体験をふりかえりながら、新しい生物や現象の発見事例を本物の標本とともに見ていきます。一日研究員のミッションをクリアしたあなたなら、「自分にも新しい発見ができる」という可能性を感じられるでしょう。

[第3研究室 科学監修: 馬渡 駿介(北海道大学名誉教授)]

#### ◆観察から発見!

身の回りのものをよく観察してみると、そこにはきっとたくさん発見があるはず。88年ぶりの大発見として話題になった昆虫「カカトアルキ」や、ジャイアントパンダの7本の指の使い方など、観察することで得られたさまざまな発見事例を紹介します。夏休みは身近な不思議に触れることができるよい機会です。自分が興味をもったことをどんどん観察して、自分だけの発見を目指しましょう。



ジャイアントパンダの7本の指の使い方は日本人研究者によって解明された  
写真提供:(公財)東京動物園協会

#### ◆分類から発見!

この生物はなぜこんな色や形をしているの?他の生物と似ているけど、どこか違ってる?観察から生まれる疑問を解く一つの鍵が分類という手法です。「1種類だと思っていたトカゲが実は3種類だった!」「どちらもハチだと思ったら実は一方はカミキリムシだった!」など、分類することで答えが見えてくる事例を紹介します。分類を駆使してみると、あなたにも新しい発見ができるかもしれません。